

	<b>第062号</b>	<b>2024年7月1日</b>
	☎180-0006 東京都武蔵野市中町 2-21-15 発行責任者 近藤 和義 TEL. 0422-53-5252 FAX. 0422-52-8100	

## 甲武鉄道と武蔵野の生活

理事長 近藤 和義

皆さんは甲武鉄道という名をご存知でしょうか。名前を聞いたことがある方もおいでと存じます。

甲武鉄道は明治の私設鉄道会社で、現在の中央線に鉄道を敷設した民間会社です。当時は国鉄がなく、私鉄が全国に広まっていた。当初甲武馬車鉄道と称し、新宿から羽村、八王子、甲府までの馬車路線の予定であったそうです。すなわち甲州と武蔵をつなぐ予定を立てた馬車会社で、変遷の後鉄道会社として興され、新宿から八王子までの路線を完成させました。

当初の路線案は、甲州街道付近に沿った案や青梅街道付近に沿った案があったと言われております。

しかし一説では、蒸気機関車が通ると汽車の煙突から出る火の粉で屋根に火が付くとか、お客が奪われてしまうなどと諸説を流布されたことによる反対運動もあったそうです。

そこで東中野から立川までの間にはほとんど障害物がなかったことと、買収がしやすかったこともあって、直線で結ぶことになったそうです。

すなわち当初の計画通りに鉄路が敷設されれば現在の中央線沿線の発展はなかったのです。当然武蔵野市も同様です。甲武鉄道の武蔵野市の初めての駅は武蔵境駅(境停車場)で、しばらくたってから吉祥寺駅が出来ました。

当時の武蔵野村の人口は3,000人と言われ、周辺では大きな村だったそうです。我が家もその1件でした。

私の祖父は明治26年生まれで当時のことを語っておったとき、実際蒸気機関車の火の粉で麦わら屋根に火が付いたこともあったと言っておりました。あながち反対運動も間違っではないなかったのかな、と思っています。

鉄道が通ったことによって武蔵野の生活は大きく変わりました。中でも中島飛行機 武蔵製作所は職員数が数万人と言われ、三鷹駅から支線がひかれるなど街も発展しました。しかし戦争が終わり、街は一気に疲弊しましたが、戦後すぐに吉祥寺には闇市ができ、さらに昭和33年頃ハモニカ横丁が誕生し発展の礎になってきました。

昭和40年前後から吉祥寺に大型小売店舗(デパート)の出店計画が相次いで発表され、伊勢丹を皮切りに、東急、近鉄、パルコ、丸井が次々開店し、大変な賑わいをもたらしました。

「国破れて山河在り」の言葉が示すように、山河を私たちに例えれば、そこに住んでいる私たちの生活は何も変わらないのです。ただ街が大きく動いただけの事でした。皆さんはどうですか？何よりも健康ですね。これからも元気でおいでできることに喜びを感じましょう。

## 例会案内

※詳細内容につきましては、毎月お送りしております「例会案内」をご覧ください。

### 第61回カルチャーウォーク 警察博物館見学と銀座でランチ

開催日時 2024年7月24日(水) 午前11時集合

集合場所 JR東京駅 八重洲中央口1F 駅前広場

解散場所 JR有楽町駅 15時頃

歩行距離 約2km

歩行コース 東京駅八重洲中央口/スタート～八重洲北口～北町奉行所跡石碑～警察博物館(見学)～銀座4丁目～晴海通り～ニュートーキョー(ランチ)～有楽町駅/ゴール

\*今回は、ポリスミュージアム見学と見学後、銀座でランチを楽しみましょう、というご案内です。

東京駅八重洲中央口から八重洲北口方向に進むとグラン東京ノースタワー前に都の旧跡、北町奉行所跡の石碑があり、見学後銀座方向に進みブリヂストンビル、三井住友ビル等、超高層ビルが建ち並ぶ景色を見ながら、京橋駅近くの警察博物館に到着します。

警察博物館は、日本警察の始まりから現在までの歴史的な資料を展示し、現在の警察庁の活動について紹介する、来て、見て、学び、を体験できる博物館です。

警察庁創設者である川路利良大警視に関する資料をはじめ、草創期からの事件に関する資料や、制服等装備品の変遷を展示他、警察各分野で活動する警察官の紹介等を行っています。博物館見学時間は60分です。

見学後は、銀座一丁目、銀座二丁目の高級ブティック街をぬけ、有楽町駅近くのニュートーキョーでランチを楽しみ、その後解散となります。

\*今回は水曜日です。お間違えの無いようお願いいたします。

(文：須藤 昭枝)



## 第62回カルチャーウォーク

### 府中市散策 大國魂神社と公園めぐり

開催日時 2024年9月21日(土) 午前9時集合  
 集合場所 京王線 東府中駅 北口駅前広場  
 解散場所 京王線 中河原駅 午後2時頃  
 歩行距離 約8km  
 歩行コース 東府中駅 北口広場/スタート～府中の森公園(WC)～小金井街道～桜通り～馬場大門けやき通り～大國魂神社(WC)～東京競馬場(WC)～府中街道～ふるさと通り～郷土の森公園(昼食・WC)～府中多摩川かぜの道～中河原公園(WC)～中河原駅/ゴール

\*当初計画では「府中散策とサントリー武蔵野ビール工場見学」でしたが、ビール工場が大人数見学(MAX8名)できないため、今回は広大な公園(府中の森公園・郷土の森公園)と大國魂神社、東京競馬場、府中多摩川かぜの道めぐりに変更して実施いたします。

東府中駅前をスタート。旧米軍府中基地の跡地である府中の森公園へ(WC)。小金井街道、桜通りを経て馬場大門けやき通りへ。「馬場大門けやき並木」は国内唯一の国指定天然記念物であり、長い歴史と由緒ある府中市のシンボルとのこと。大國魂神社の参道でもあり、かつては両側に馬場があったそうです。

馬場大門けやき通りの先に武蔵国の総社であり、東京五社の一社である大國魂神社の大鳥居がみえてきます。創建は景行天皇41年(西暦111年)5月5日と伝えられており、境内地がかつての武蔵国の国府跡にあたり、境内地と市道を挟んで東側の市有地は「武蔵国府跡(武蔵国衙跡地区)」として国の史跡に指定されている。



東京競馬場は1933年(昭和8年)11月8日開場。総面積は約24万坪。本馬場は一周2100メートル、幅は30メートルで芝を植え、本馬場内側には練習馬場(調教用コース)を設け練習馬場には川砂を敷いてある。

かつては「市民健康センター」と呼ばれていた1989年には手づくり郷土賞(歴史をいかした街並み部門)を受賞した多くの設備を有する郷土の森公園へ。ここの修景池(蓮池)で昼食休憩となります。この蓮池には植物学者 大賀一郎博士が綺麗な花を咲かせることに成功した2000年以上前の古代ハス「大賀ハス」が6月下旬から8月中旬に見頃をむかえます。

多摩川沿いの府中多摩川かぜの道を関戸橋北まで歩を進め、鎌倉街道に入り中河原公園で小休憩(WC)。

鎌倉街道を北上し、中河原駅でゴールとなります。皆さま、みどりいっぱい府中市内散策に是非ご参加ください。

(文:小松 巧)



## 例会ウォーク実施報告

2024年3月23日(土)

### 第183回定例ウォーク

#### リバーサイド石神井川 桜鑑賞ウォーク

当日朝は最高気温10℃ 小雨降る寒いなか王子駅に16名が集合。霧雨となったため、飛鳥山公園内の「渋沢記念館」見学後中断することになった。

今年7月3日に新発行される10,000円札に肖像が採用された渋沢栄一記念財団が運営する旧渋沢邸跡に建てられた「渋沢記念館」は1.栄一の思いにふれる、2.91年の人生をたどる、3.幅広い活動を知る、3つのテーマの展示資料で構成されており、その膨大な資料をじっくり習得することができた。おそらくすべての資料を見学するには一日以上かかるであろう。



また、併設の1917年 栄一の喜寿を祝って清水組(現清水建設)より贈られた洋風茶室「晩香廬」、1925年 栄一の傘寿と子爵昇格祝いを兼ねて竜門社(現 渋沢栄一記念財団)が贈呈した「青淵文庫」も見学した。

見学後は流れ解散となった。悪天候のなか参加された皆さまお疲れさまでした。

(理事:平野 健)

2024年4月13日(土)

### 第1回花シリーズウォーク

#### 荒川散策と都市農業公園のチューリップ鑑賞

令和6年度の最初のウォークは絶好の花日和、ウォーク日和。桜はもう盛りを過ぎたかと思われていたが、足立区都市農業公園の前の街路樹は今を盛りと沢山の花をつけ、すべての樹に樹木の種類が記されており、種類の多さに感心するばかり(その種類をちっとも思い出せませんが)。ここは遅咲きのものが多く植えられているようでした。今年の桜の開花が平年より遅かったため、早く咲くソメイヨシノもまだそのあでやかな花をつけていました。

ほどなく足立区都市農業公園に到着。田植えや収穫など、さまざまな農業体験ができる処。

「農」がテーマの都市公園。水田、畑、池、古民家、長屋門などもあり、古い農具なども保存展示されている。畑には小松菜等の葉モノ、サヤエンドウ等の豆類等も芽を伸ばしていた。全て名札がついているので、良くわかる。荒川の河川敷には、今回の主役のチューリップの植え込み（3万5球）が見事な模様を描き、春の到来を祝っているようだった。



存分に鑑賞をしたのち、荒川の流れを見ながら鹿浜橋を渡り、新田公園にて昼食休憩。午後は都立高校の活躍する生徒を応援する垂れ幕を眺めながら、王子神谷駅に到着。今年度最初のウォークは無事終了した。参加会員31名他協会3名 計34名でした。

(理事：須古 悠美子)

**2024年4月25日(木)**

**第59回カルチャーウォーク**

**あしががフラワーパークの大藤鑑賞【バス旅行】**

前日の雨も上がり快晴。朝7時45分に45名が新宿センタービル前に集合し、大型バスで足利フラワーパークに向かいました。栃木県指定天然記念物で樹齢160年の奇跡の大藤の見頃とあって、物凄い人出で、花の咲き具合で変わる入園料も最高額。外国人観光客も多く、色々な国の言葉が飛びかかっていました。

CNNが『世界の夢の旅行先10選』に選出した約10万㎡の足利フラワーパークには、広さ1000㎡の大藤棚が4つ。350本以上の見応えある満開の藤があちこちに植えられ、手入れの行き届いた色とりどりの花々の美しいこと！甘い香りが今も漂ってくる様です。



どこをみても花花花！山の斜面は色とりどりのツツジで埋め尽くされ、ツツジ山側から見下ろすと満開の藤や池に浮かぶ三角錐の色とりどりの花壇が見えて、息を

のむほどに美しい光景でした。「感動分岐点を超えた」という言葉がぴったりの、心の中に感動が染み入る至福の時間を過ごさせて頂きました。

シンボルの大藤は、足利市堀込町の「早川農園」にあり、この農園が、都市開発の為、1997年に現在の迫町(はさまちょう)に移設され、「あしががフラワーパーク」としてオープンしたそうです。

幹直径1m以上ある大藤の移植の前例はなく、オーナーが4年探して、やっと出逢った女性初の樹木医、塚本こなみ氏に依頼し1994年から丸3年かけて、4本の大藤の移植が成功しました。

沼地だった園内に250tを超える炭を敷き詰め土壌改



良し、繊細で傷つきやすい藤を傷つけない様に石膏包帯を巻いてギブスの様に固定したり、一般の殺菌塗布剤では腐りやすい藤の切口には、墨を使ったり等々。この「常識を超えた移植プロジェクト」に関わった延べ2000人の努力と諦めない強い気持ちで、園内の樹木や花々に溢れているのを実感しました。

来客の休憩用には、洒落た椅子やテーブルが沢山用意されていて、美味しい大藤弁当を座って頂きました。暑い日だったので、ビールやソフトクリーム販売も大盛況でしたが、混雑の割に販売がスムーズで、大満足！帰りも順調で、予定時刻通り4時に新宿に帰って来ました。

本当に夢の様なひと時を過ごさせて頂き感謝です。「むさしの歩こう会」のホームページに小松 巧氏撮影の美しい写真が掲載されているので是非ご覧ください。

(理事：橋本 彩子)

**2024年5月4日(土)**

**第2回花シリーズウォーク**

**野川公園から神代植物公園のバラ鑑賞**

今年度の花シリーズウォーク第2回は武蔵野の面影残る道筋をたどり、都立神代植物公園のバラ鑑賞でした。ゴールデンウィークまっただ中、5月4日(土曜日)当日は快晴無風、初夏のウォーク日和りとなった。

集合場所の西武多摩川線多磨駅には、会員47名、他協会員1名、一般12名 合計60名、と大勢参加。一般の方はホームページをご覧になって参加された方が多かった。

久しぶりの大所帯、隊列の長さや迷子の心配をしなからスタート。

すぐ人見街道に出て暫く歩くと、皆さまご存じの新撰組局長 近藤勇の生家跡へ到着。

隣接する都立野川公園へ。公園事務所にて小休止となる。ここは元々ICU 国際基督教大学敷地内のゴルフ場であった場所で歩いていると広い芝のフェアウェイと両サイド松林の景観がミドルコースを思い合わせ、連休中でもあり、多数のテント🏕️🌳が張られ、小川も有り家族連れで賑わっていた。また近くに調布飛行場が有り連休中とあって下見の時と違い頭上には東京からの離島便や多数のセスナ機が飛来していた。

公園内の東八道路陸橋を渡り、野川に突き当たりこれに沿って自然観察園まで進んだ。

此処から武蔵野の路、野川緑道に入った。

古民家が移築され、夏には蛍が舞う大沢の里で小休止。対岸の水車小屋に立ち寄り野川を下る。

天文台通りを渡り切った処で信号にかかり隊列が長くなったため暫く木陰で最後尾の赤旗を待った。

暑かったので途中ショートカットし、深大寺入り口へ。武蔵境通を北上し神代植物公園正門に到着。

当日は、みどりの日 入園無料で大混雑、入口内横の園内情報棟で人員確認と11時40分から13時20分迄自由行動、バラ園テラス集合の案内を受けた。

自由散策でしゃくなげ咲くエリアを通り目指すバラ園🌹🌹に。このバラ園は昭和34年に日米親善の為ロサンゼルス市から送られた80種のバラを元に作られたそうです。見事満開の素晴らしいバラの咲き誇りはいつ見ても感激です。



藤棚の下皆で昼飯を、時折涼しい風が通り抜け暑さを忘れ元気を取り戻す。

集合後深大寺門を出てゴールの深大寺に向かうも参道両脇の蕎麦屋、土産物店はどこも人、人の混雑。深大寺境内で解散予定も急遽近くのバス停に変更となり、解散後自由行動する事でウォーク終了となった。

帰路、三鷹、吉祥寺方面バス停は長蛇の列で大変でした。

大勢の参加でしたが大きな問題も無く、暑いなか皆さんお疲れ様でした。

(会員：山本 喬)



2024年5月18日(土)

第184回定例ウォーク

皇居・江戸城の史跡めぐり

好天に恵まれウォーキング日和。ビル街から見る空は四角かった。

皇居は徳川家康が江戸城に入府してから幕末に至るまで将軍家の居城として歴史を刻んできた。現在 本丸跡、二の丸庭園、三の丸、東御苑、北の丸公園として一般公開されている。

丸の内知的オアシス街オアゾ前広場を午前9時すぎに48名で出発。江戸城の正面にあたる大手門より手荷物検査後入苑。

苑内は高麗門と渡櫓門。ここが枳形虎口。枳形に入っ  
て行き場  
を失った  
敵兵は渡  
櫓や石垣  
上から狙  
い撃ちさ  
れてしま  
う。枳形  
の左には  
鯨が置か  
れていた。



三の丸跡には同心番所、左側には百人番所。中之門をでると芝生の本丸跡。松の大廊下跡、富士見多聞から石室を進み天守台へ。天守台からの眺望は、北側に高層ビル群、南側に大奥跡がよく見えた。

次に梅林坂を下り、二の丸庭園散策後平川門へ。今日は入苑者の大部分は訪日外国人が占めていた。

左折し竹橋から北桔橋門へ。石垣が高く立派であった。半蔵門に向かい、イギリス大使館前の千鳥ヶ淵公園で昼食休憩。半蔵濠を眺めながらの食事は気持ちが良かった。近くには伊賀同心 服部半蔵の屋敷があったとのこと。

井伊直弼が暗殺された桜田門を入ると日比谷入江の埋め立て地。皇居の二重橋は、手前は石橋(めがね橋)と奥の鉄橋になっているのを確認。坂下門、桔梗門、巽櫓を左手にみて和田倉門跡でゴールとなった。お疲れさまでした。

何よりも嬉しいことは歴史的な重要名所が無料で見学できる事です。家族・知人などで再度訪れられることを願うばかりです。

(理事：芦田 敏武)



2024年6月1日(土)

第3回花シリーズウォーク

小岩菖蒲園と堀切菖蒲園の菖蒲鑑賞

台風1号が発生して前線の低気圧を刺激し寒暖差が激しく東京も暴風雨の日があったので、1日(土)のウォーキングが気がかりでした。当日は曇り空午も会員33名一般4名計37名が京成本線江戸川駅より徒歩5分の小岩菖蒲園に集まって下さいました。

丁度1日(土)から4年ぶりの小岩菖蒲祭りが開催されておりストレッチをして30分の散策へ、地元住民から寄贈された花菖蒲を江戸川区が回遊式庭園に整備して、紫や白・珍しい黄色など100種類もの花菖蒲「花言葉 優美」と鮮やかなピンクの睡蓮「花言葉 優しい」を鑑賞しました。



小岩菖蒲園を後にして江戸川堤防を右手に野球場を見て歩き野球場が途切れた所で堤防を降りて上小岩遺跡通りを進みました。当初の予定では堀切菖蒲園まで歩き通す予定でしたが、当日暑くなり熱中症の罹患が危惧されたので、京成小岩駅から堀切菖蒲園駅まで電車に乗りショートカットしました。

駅からは町内会で設置された案内板を頼りに堀切菖蒲園迄進む途中には湧き水で子供が行水していたり、あらゆる種類と色のアジサイが綺麗に咲いていました。

ゴールの堀切菖蒲園も本日から葛飾菖蒲祭りが開催されていて、大変な人手の為正門で解散、自由散策となりました。さすが、歴史深い堀切の花菖蒲の命名「葵の上」「宇宙」「堀切の夢」ロマンをありがとう。

園内では食事が出来ないのので有志を募り9名で綾瀬川を渡り、堀切水辺公園まで足を伸ばし花菖蒲のそばの大きな柳の日影でスカイツリーを眺め、コンビニおにぎりを食べて帰宅しました。

真っ直ぐに大空に向かって優美に咲く花菖蒲が大好きになりました。本年は足利の大藤から花シリーズの1回チューリップ2回の薔薇と花日和に恵まれましたね。(理事:加納 みどり)



2023年6月15日(土)

第185回定例ウォーク

横浜市都筑区のアジサイ緑道を歩く

横浜市営地下鉄仲町台駅前に9時半に集合したのは39名とお聞きしております。

前日の暑さでこのウォークを心配しておりましたが、最初から木陰が多く、又3月にこの場所を実践しているだけにウォークへと気持ちのはやりました。メインは横浜市の穴場スポット、約600mに色とりどりに咲き誇る「アジサイ」鑑賞です。

仲町台駅をスタートです。駅前からして皆様のお越しを木々が歓迎してくれている様でした。駅前を左に横浜方面に進み、サカタのタネ本社でお花の鑑賞です。きれいに手入れがされていてとても素敵でした。

アジサイを鑑賞しながら北方向に進むと「せせらぎ公園」に到着します。せせらぎ公園の短いトンネルを覚えていらっしゃいますか?まるでジブリの世界にでも入



って行く感じがし、その光景が印象に残っております。ここではカルガモにも遭遇し、又、白やピンクのスイレンも咲いておりました。

せせらぎの道ではたくさんの竹林があり、その手前のせせらぎは循環型とのこと。又、そこから少し歩いていくと右手には竹林を愛でられるレストランがあり、素敵な街並みがありました。

大熊川のアジサイ緑道も知る人ぞ知る穴場スポットでした。本来ならこの時期は既に梅雨入りしていてアジサイもたっぷりの水でもっとシャキッとしていたのかもしれないね。

茅ヶ崎公園で昼食となりましたが、ここも木陰が沢山あって気持ちの良い場所でした。ここでの発見はとて大きな蟻でした。1.5~2.0cm程でした。

正覚寺、港北ニュータウン遺跡群の大塚・歳勝土遺跡公園と歩みを進めてきましたが、遺跡公園では弥生時代中期の遺跡で当時の住居跡を見学しました。竹林の九十九折の道を降りてくるのもとても記憶に残りました。

今回のウォークでは横浜市、港北ニュータウンの都市開発のすばらしさを体験できました。せせらぎ公園やせせらぎの道を含む横浜市の都市開発は自然と調和していて住み心地良い所なので人気のエリアなのです。実際にその街を訪れてみないと分からないです。

“百聞は一見に如かず”ですね。これからも様々なウォークに参加したいと思いました。

この様なコース選定をして頂きありがとうございます。

(会員:田中 裕子)

## ホームページ情報

[1] 8月度 例会案内はありません。

[2] 会報第62号を7月初旬に掲載します。

[3] ギャラリーを7月初旬に掲載いたします。

※例会ウォークの中止・変更等につきましては、  
インフォメーション欄に逐次掲載してまいります。

## 会員ニュース

2024年6月25日現在、入会された新たな仲間をご紹介します。(敬称略)

武蔵野市 340 遠藤 登與美

武蔵野市 341 江原 良子

武蔵野市 342 茨城 恵偉子

## 2023年度 例会ウォーク表彰

「2023年度例会ウォーク」の表彰対象会員の皆様です。おめでとうございます。

○年間全19回すべて完歩された方は次の1名です  
小松 巧

○高参加率(75%以上)を達成された方は以下の17名です。

秋元 美恵子・芦田 敏武・北村 スミ子・小林 京子・

近藤 和義・斎藤 律子・下之園 久・須藤 昭枝・

田中 裕子・田村 一枝・寺師 洋子・橋本 彩子・

平野 健・峰田 則子・元木 満生・山田 庸子・

渡部 美恵子

(アイウエオ順・いずれも敬称略)

以上18名の方に表彰状と記念品が贈呈されました

## お願い

会報内容充実のため、いつでも会員のみなさまの投稿をお待ちしております。なんでも結構です。

## 【ご参考】

### 『NHK あしたが変わるトリセツショー』

一部を抜粋して掲載しております。育菌カードは下記よりダウンロードしてご活用ください。

<https://www.nhk.jp/p/torisetsu-show/ts/J6MX7VP885/schedule/>